

●ドイモイ以降、現地調査の蓄積はおびただしい。本書は、ベトナムに関する人類学および関連分野の研究動向を概観し、おもな業績に解題を付したものである。

ベトナム文化人類学文献解題

末成道男編

本書は、ベトナムに関する文化人類学およびその関連分野の研究動向を概観し、おもな業績をえらび、その主要なものに解題を付したものである。

ベトナムは、有史以来中国とインドの両文明の影響を受け、また周辺地域からも様々な文化要素を受け入れ、独自の文化、社会を形成してきた。その多様性と統合のあり方は、人類学者にとつてきわめて魅力的な対象であったが、人類学の集中的現地調査が行われるようになったのは近々十年余りにすぎない。

……現地滞在型の調査の口火をきつたのは歴史学であった。ここに書齋における文献資料だけに留まらず、現地体験を重視する新しい学風が生まれた。一方、民族学、文化人類学の宝庫ともいべきベトナムであるが、村落など一定のコミュニティの集中調査が可能になるのは、さらに数年後の一九九〇年初頭になってからのことであった。それから一〇年間、フィールドに入る人類学者は急増し、学位取得者も一〇名を超えようとしている。研究者の対象地域や関心領域も多岐にわたり、様々な形で発表されているため、いまや個人では全貌を把握することが難しくなりつつある。……

ベトナムに関する人類学的研究の文献目録を作成し、主要なものに解題を付し、それぞれの分野での研究の流れをまとめた。目録には日本の研究の全体における位置づけをはかる意味もあり、現地ベトナムや外国の研究の重要な業績も含めた。

研究対象であるベトナム社会も、経済成長、都市化、人口移動の増大などにより著しい変容を遂げており、旧来の伝統的手法だけでは不十分で、新たな方法の開発が望まれる。

本書の刊行によって、人類学における研究者相互の連携および隣接分野との相互交流が一層活発になることを期待したい。

序文 凡例

第1部 分野別研究史

1 国内における一般書の概説

2 家族・親族

3 年齢

4 ジェンダー

5 物質文化

6 教育

7 宗教・信仰

8 民族分類

9 言語・文字

10 北部

11 南部

12 西北諸民族

13 中部

14 華僑・華人

第2部 文献解題

第3部 付録

引用誌名一覧

民族名対照表

索引

体裁

・B5判・上製・カバー

・三八四頁

定価

・六三〇〇円

(本体六〇〇〇円)

発行所 風響社

114-0014 東京都北区田端四一四一九
電話〇三(三八二八)九二四九
http://www.fukyo.co.jp

発売	風響社	TEL: 03-3828-9249
税込み	六三〇〇円	部

末成道男編

ベトナム文化人類学文献解題

ISBN978-4-89489-140-1 C3039 ¥6000E

注文書

流通センター
取扱品

地方出版

[お客様控え]

ご氏名
ご住所

お電話

月 日